

東西南北

コロナ禍の下で見えてきたための地域を支援する金融の役割

金融革新懇



9/20 金融革新懇学習会の様子

9月20日(日)、金融革新懇は「コロナ禍の下で見えてきた地域を支援する金融の役割」と題して総会を開催。名城大学の井内尚樹さんが講演しました。冒頭、金融革新懇事務室長の大野さんからの活動再開にむけての報告がありました。井内さんは「持続可能社会を地域から作っていくた

グリラ戦を想定した手のこんだ訓練施設です。日本の防衛のためならばまだしも、あきらかに将来、自衛隊が米軍と一緒に中東での軍事作戦に参加させるための訓練です。こんなことに膨大な予算が割かれているのです。
このような無駄遣いは、いま、コロナ禍だからこそ問い直されるべきです。

「敵基地攻撃能力」

安倍前首相が辞任直前に「敵基地攻撃能力」談話を

コスト意識をもつて

「政治は自分に関係ないこと」、「選挙にいつても

第9回代表世話人会 (9/17) 報告

情勢懇談

- (1) **アベ政治 (7年8か月) の分析**——アベノミクスで賃金は下げられ年金も減らされ続けた。逆進性の高い、消費税を2回値上げした(5%→8%→10%)。ジェンダー平等指数121位。政治の私物化が生じると前官房長官は資料の隠匿、改ざん、廃棄を繰り返してきた。
- (2) **菅新政権をどうみるか**——安倍政治を陰で仕切ってきた。安倍政治の本格的総括(国会審議)もないまま、目先のポイント稼ぎをしチャンスが来たら総選挙を仕掛けてくることに対峙する。
- (3) **「自助・共助・公助」、新自由主義でさらにひどくなる**——権力者から「自助」を言われる筋合いはない。権力を持つ者こそ「公助」の義務がある。小泉政権以来、一貫して新自由主義、大企業への規制緩和を進めてきた。もうかることはすべて民間、大企業にゆだねてきた。公共サービスは低下の一途。公立病院のベッド減、保健所の半減、水道の民営化なども。
- (4) **総選挙・野党共闘の前進を**——新立憲民主党の結成、首相指名で野党が「枝野」でまとまった。枝野立民代表は新自由主義との対決を主張。各野党はそれぞれ行き先は違うが、いま求められることが可能。野党共闘のために政策づくりが進んでいる。県内では市民連合@あいち・市民と野党をつなぐ会@あいち、4区は政策をまとめた。3区は街頭アンケートを行い政策を練り上げることに。
- (5) **生命・暮らしのための運動**——コロナ対策(PCR検査、解雇・派遣切りなど)を求める。公務労働でも超過勤務が法定枠を超えている。

当面の取り組み

- (1) 『コロナ後の日本と革新懇の未来』シンポジウム——10月11日・労働会館本館
- (2) 大村知事リコールを許さない運動 ◎反対署名◎栄噴水前での集会——10月18日
- (3) 辺野古新基地建設変更の意見書提出

次回代表世話人会 10月21日(水) 14時～

「敵基地攻撃能力」と言っても、移動式発射台や、燃料投下の有無など、何をどう判断するのかが、攻撃してみたら違っていた、では完全に先制攻撃国際法違反です。こんな国会で追及されたらあつと国民の不安を煽って、改憲の機運を高めようとしているのです。

付度社会、根深い

数年前に「付度」が流行

「付度社会、根深い」という無力感が近年の低投票率につながっています。マスコミの影響も大きいですね。日頃から学生と話していて、観念的に「平和大事」では伝わらないと感じています。私たちが税金がどう使われているのか、年金がどうなるのかなど、納税者としてのコスト意識を呼び起こすような問いかけが必要ではないでしょうか。

第三次安倍内閣

菅政権が誕生しましたが、これは「第三次安倍内閣」とも言えると思います。日本学術会議での任命拒否は本当に驚きました。拒否された一人、加藤陽子さんは日本史教科書の執筆者の一人です。いわば文科省にも認められた人ですよ。少しでも政権批判をする人

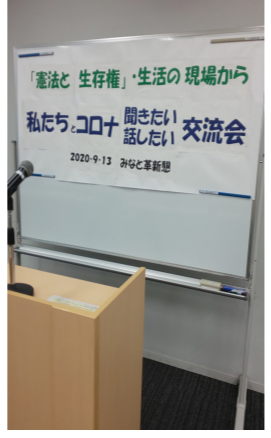
わかりやすくインパクトのある訴え

立憲野党は、共産党もいれてかなり連携をとれるようになってきていますよね。選挙協力がどこまでできるかということがまず重要ですが、もう一歩前に進める必要があります。

98年の共産党、09年の民主党の大躍進の際、無党派層が大きく動きました。無党派層は、決して政治に無関心というわけではない。世間の流れやマスコミの報道は敏感に感じ取っている。だからこそマスコミで持ち上げられると菅政権の支持率が上がるんです。これはマスコミの責任が非常に大きいのです。こういう人たちに、わかりやすく、インパクトもつて、何が本当に大切かを訴え続けることが重要です。

めに、金融がその役割を積極的に担っていくことが重要」とドイツの事例などを示して話されました。また、会場からは「現役で銀行窓口にたっているが、なかなか地元需要にこたえられない」などの実態も出されました。参加者24名。(山本晃子)

5周年だからとお誘いし、初めて参加の女性もいました。「アベ政治継承NO」の新しいプラスターを掲げました。(西浦幹朗)



9月4日 みなと革新懇 交流会

戦争法強行5周年スタンディング 蒲郡まちづくり学校



9/19 蒲郡 スタンディング

5周年を迎える戦争法強行の9月19日、11人が参加しました。おそらくスタンディングでは最も多い参加者です。

「憲法と生存権を考える」交流会開催

9月13日、みなと革新懇で「私たちとコロナ 聞きたい話したい」憲法と生存権を考える」交流会を開きました。現在のコロナを巡る国政の争点などの報告も含め、牧野議員から「挨拶を頂き、地方行政、医師、弁護士、保育、教育、障害者福祉の各現場からのコメントを受けて参加者の意見がやり取りされる場となりました。まさに参加者の「懇談の場」としての試みの場ともなり4名の新しい会員の方に運動にご参加頂ける事にもなりました。

県職トクの会

9月4日、4人で県西二河総合庁舎前の3回目の早朝宣伝。配布枚数は過去40枚、50枚になり、今回は60枚と着実に増加。前2回とも小雨決行、当日は台風10

第1回世話人会開催 革新・岡崎の会

8月16日、14名の参加で開催されました。

岡崎市長選挙について中根友治世話人(あつたか岡崎市政の会事務局長)は、「会独自の候補は擁立せず、会のビジョン実現のために中根やすひろ氏とともにたたかう方向」に至る経過の報告がありました。

鈴木まさ子世話人(日本共産党市議)は「80億円のコンベンションホール建設中止を求める連絡会」があつたか市政の会や中根やすひろ事務所などが参加してつ

9月4日、4人で県西二河総合庁舎前の3回目の早朝宣伝。配布枚数は過去40枚、50枚になり、今回は60枚と着実に増加。前2回とも小雨決行、当日は台風10

連日スタンディング 緑平民懇

緑区では、8月3日、8日、9日と連日各所でスタンディング行動がありました。

8日の緑区原水協、核兵器廃絶スタンディングは徳重駅、潮見が丘、最中交差点の三か所で実施し、50人を超える参加がありました。9日は岩の上協会、安保法制を許さない緑区の会も連帯し、双方から15名の参加。「コロナ感染新たな拡大、命、暮らしを守るために国会開いて対策を」のアピールもありました。(緑平民懇ニュースより)



9/9 スタンディングの様子